

## 3年 わたしの地図活用

マラソンコースをつくろう  
～3年生からの地図帳活用を見すえて～

福島県 いわき市立汐見が丘小学校 星野 尊乗

## 1 はじめに

新学習指導要領では、地図帳の活用が第3学年の目標の中に記されるとともに、「白地図などにまとめる」活動が数多く示され、第3学年の学習において地図帳を効果的に活用し、調べたことを白地図などにまとめる技能の習得が求められています。

そのため、今後は初めて地図帳を手にする第3学年での地域学習がこれまで以上に重要になると考えられます。児童が「地図(帳)を使った学習は楽しい」「もっと地図(帳)を活用した学習をしたい」と感ずることができるような、授業の構想、教材研究が求められます。そこで、上述した2020年度から始まる新学習指導要領の完全実施も見すえたうえで、地図帳の活用を意識した授業を構想し、実践しました。

## 2 単元計画 (全5時間)

時間	学習内容
1	地域の特色について考え、学級全体で共有する (学習問題の設定)。
2	学区の地図を使った調べ学習や話し合いからコースを構想する。
3	走る候補地を三つに絞って地図上に表し、コースを決定する。
4	地域住民に文化財や年中行事について話を聞き、コースを再考する。
5	決定したコースを自治会長に紹介し、講評を受ける (学習のふり返り)。

(小単元名「のこしたいもの・つたえたいもの」)

本単元では「地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事」を取り上げ、その保存・継承にか

かわる地域の人々の願いや努力などについて学習します。現在使用している教科書には文化財の見学や年中行事への参加が例示されていますが、地図を活用し、その扱いに慣れ親しむ活動を確保すべく、上記の単元を計画しました。なお、全時間とも地図を使用しましたが、おもに第2・3時目を中心に活用しました。

## 3 授業の実際

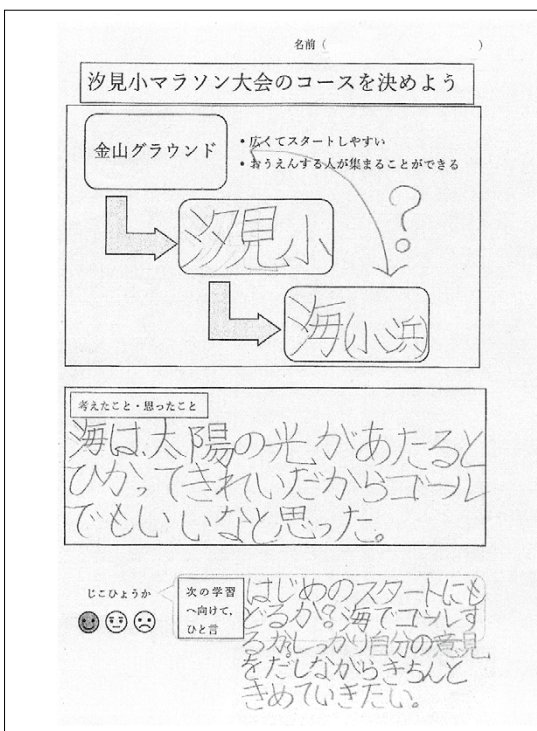
## ■第1時・第2時

はじめに「東京マラソン」のコースが変更したことを伝える新聞記事や写真を提示し、その変更理由の一つが「東京の素晴らしさを内外に一層アピールする」こと、とくにゴール地点が東京駅になったことを児童に伝えました。また地元いわき市で毎年開催されている「いわきサンシャインマラソン」のコースが、いわき市の観光名所や景勝地を通るコースであることをパンフレットの地図を使って確認したうえで、「地域のよさがアピールできる『汐見小マラソンコース』をつくろう」と、単元の目標を設定しました。

「マラソン」とはいつても、児童がコースすべてを決めることはできません。そのため本実践では、距離にはこだわらず、スタート・ゴール地点と経由地を決めることを目標にしました。マラソンコースを考えるにあたり、児童には学区の地図を配付しました。その際、目印として小学校と登下校で通る主要な交差点を全員で確認するとともに、地図記号や方位の確認、地図の縮尺についても話しました。そうすることで、コースの道のりや周辺の環境などが具体的にイメージできるだけでなく、次年度から始まる地図帳の活用に抵抗なく入れるのではないかと考えたからです。幸い、学区の地図をていねいに扱ったため大きな戸惑いもなく、児童からは「僕の家がある」「いつも遊んでいる公園だ」などの声があがりました。また、自主的に地図に色や印を書き加えるなど、地図を活用した学習への意欲の高まりが感じられました。

### ■第3時

一番の盛り上がりを見せたのは、第3時の「ゴール地点はどこにするか」の話し合いの場面です。東京マラソンのゴール地点が東京駅に変更されたように、ゴール地点はそのマラソン大会の開催地を象徴する場所になります。スタート地点は「広くて駐車場や応援場所が確保できる」という現実的な観点から近くの「金山グラウンド」に、そして「汐見小マラソン」ということなので学校が経由地ということに決まりました。しかし、ゴール地点も上記同様の観点から「金山グラウンド」にするのか、それともきれいな海がながめられる「小浜海岸」にするのか、換言すれば「往復案」か「片道案」かについて話し合いました。児童は道幅や土地の高低差も考慮し、地図を指し示しながら意見を主張し合うなど、議論は白熱しました。

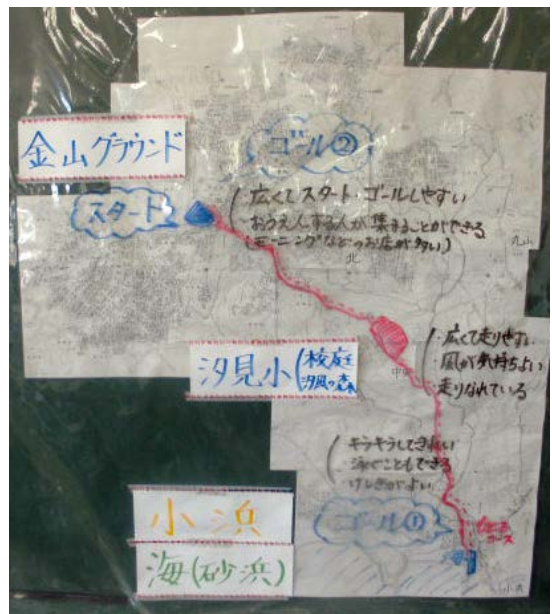


第3時に使用したワークシート

### ■第4時・第5時

第4時と第5時では、地域の文化財や年中行事にも目を向けさせ、それらをコースに織り込めなやかを検討しました。すると、スタート地点とな

った金山グラウンドには「安寿と厨子王母子像」があり、地域住民が「安寿と厨子王」ゆかりの地としてさまざまな保存・普及活動をしていること、ゴール地点となった小浜海岸では地区の人々の努力によって32年ぶりに地域伝統のお祭り「左義長」が復活したことなどがわかりました。児童がつくったコースが、見事に地域の文化財や年中行事に関係深いコースになっていました。自治会長さんからも「地域の魅力が満載のすてきなコース」と講評していただき、児童はとてもうれしそうな表情をしていました。



完成したマラソンコース

### 4 おわりに

マラソンコースを考える学習活動は地域を問わず、どの学校でも授業実践が可能です。また別の单元にも応用ができそうな活動です。さらに、マラソンコースに着目させることで東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への関心の高まりも期待できます。「〇〇小マラソンコース」を考えることを通して、児童とともに地域の特色や魅力を再発見してみたいはいかがでしょうか。

●左上の「ワークシート」の未記入のものを、弊社、指導者専用サイトに掲載しております。ぜひご活用ください。 **注目!**